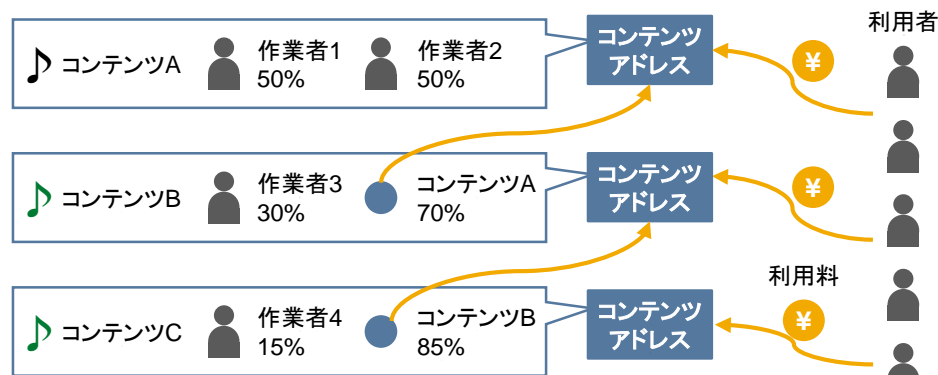


ブロックチェーン技術を活用したコンテンツサービスの検討

- コンテンツのデジタル化が進み、誰しもがコンテンツの制作者になれるプラットフォームが登場している。デジタル技術を活用してコンテンツを構成する寄与度に対する利益分配等を可能とすることで、こうしたコンテンツをマネタイズし、新たなコンテンツ市場を創出できるのではないか。
- ブロックチェーン技術に着目し、これを活用したサービス・アプリケーションに必要となる基礎的な機能や著作権法との関係を議論。ブロックチェーンの技術的な要件定義を含む報告書を取りまとめ・公表予定。
- 平成30年度補正予算「コンテンツグローバル需要創出等促進事業」において、ブロックチェーン技術を活用したコンテンツに関するサービス・アプリケーションの開発に対する支援を措置した。

ブロックチェーン技術を活用したサービス・アプリケーション（イメージ）



作業例: 作詞、作曲、編曲、実演、リミックス、振付、スペシャルサンクス、募金...etc
利用例: 聴く、聴かせる、翻案する、配信する...etc

BCの要件定義の設計が必要な機能（想定例）

- ツリー構造による利益の自動分配システム
(コンテンツ及び作業員をさかのぼった対価の設定)
- マイクロペイメント
(取引ごとの分配先への少額かつ即時的な支払い)
- 分配先の変更
(利用に対する対価を収受する権利の移転)

※ブロックチェーン技術以外の技術の活用も検討